

国連ボランティア計画（UNV）の概要

2020年6月

1 機構

- (1) 国連ボランティア計画（UNV: United Nations Volunteers）は、第25回国連総会決議2659に基づき、1971年1月1日に活動を開始した。
- (2) UNVの管理・運営は、国連総会の委託に基づき国連開発計画（UNDP）により行われており、その活動状況はUNDP執行理事会において審査される。
- (3) 本部はボン。事務局長（Executive Coordinator）は、現在、オリビエ・アダム（仏出身、D2）。2017年1月2日着任。本部のほか、地域事務所（6か所：ケニア、セネガル、タイ、トルコ、パナマ、ヨルダン）に加えて、UNDP各国事務所に付随する形でフィールドユニットを約60か国に設置。

2 活動概要

UNVは、2019年1年間で8,300名のボランティアを平和と開発の貢献のため世界各国に派遣しており、活動分野は、貧困削減、民主的ガバナンス支援、避難民保護、防災・復興、環境、持続可能な開発目標（SDGs）の達成等、多岐にわたる。技能・資質を備えた若い世代が経済社会のあらゆる分野の活動に参加することにより途上国の開発に貢献することを目的としているが、開発支援に加え、人道支援への貢献も行っている。これらボランティア（25歳以上の専門的な技能を有する人が対象）は、UNVが実施するプロジェクトに派遣される他、途上国政府や国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（UNICEF）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）等の国際機関や国連PKOミッションの要請に応じ、それぞれの国及び機関等が実施するプロジェクトに派遣される。職員数は174名（うち専門職以上の職員81名）。

3 我が国との関係

- (1) 我が国は、UNVに対する主要拠出国の一つ。令和元年度の対UNV拠出額は、約63万ドル。
- (2) UNVの邦人職員として、計3名が勤務。
- (3) 2019年における邦人ボランティア数は、年内派遣ベースで、計111名。
- (4) 我が国の提唱により2001年は国連において「ボランティア国際年」とされ、UNVはその事務局を務めた。2002年11月には第57回国連総会にて、同国際年のフォローアップに関する総会決議（A/RES/57/106）が採択された。2012年の第67回国連総会では、同じく我が国の提案により、今後のボランティアの方向性を示すことを目的として、国連におけるボランティアの主流化（integrating volunteering in the next decade）を盛り込んだ「ボランティア主流化」決議（A/RES/67/138）が採択された。2015年12月、第70回国連総会において、我が国とブラジルが主提案国となったボランティア推進決議がコンセ

ンサス採択され(A/RES/70/129), また, 2018 年 12 月, 第 73 回国連総会では, 「持続可能な開発のための 2030 アジェンダに向けたボランティア」が, 我が国とブラジルをはじめとした 124 か国が共同提案国となる形で採択された(A/RES/73/140)。

- (5) 国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)に国連ボランティアとして参加し, 1993 年 4 月選挙支援活動に従事中に亡くなった故・中田厚仁氏の父親の故・中田武仁氏は, 1993 年から 2008 年 4 月まで国連ボランティア名誉大使を務めた。享年(2016 年 5 月)まで国連ボランティア終身名誉大使。